

鹿島道路は、 第63次南極地域観測隊に隊員を派遣しています



鹿島道路

joins

国立極地研究所

南極地域観測隊とは？

南極地域観測隊は、南極の自然科学の観測を行うために日本が南極に派遣する調査隊の名称です。通常は南極観測隊と呼ばれています。

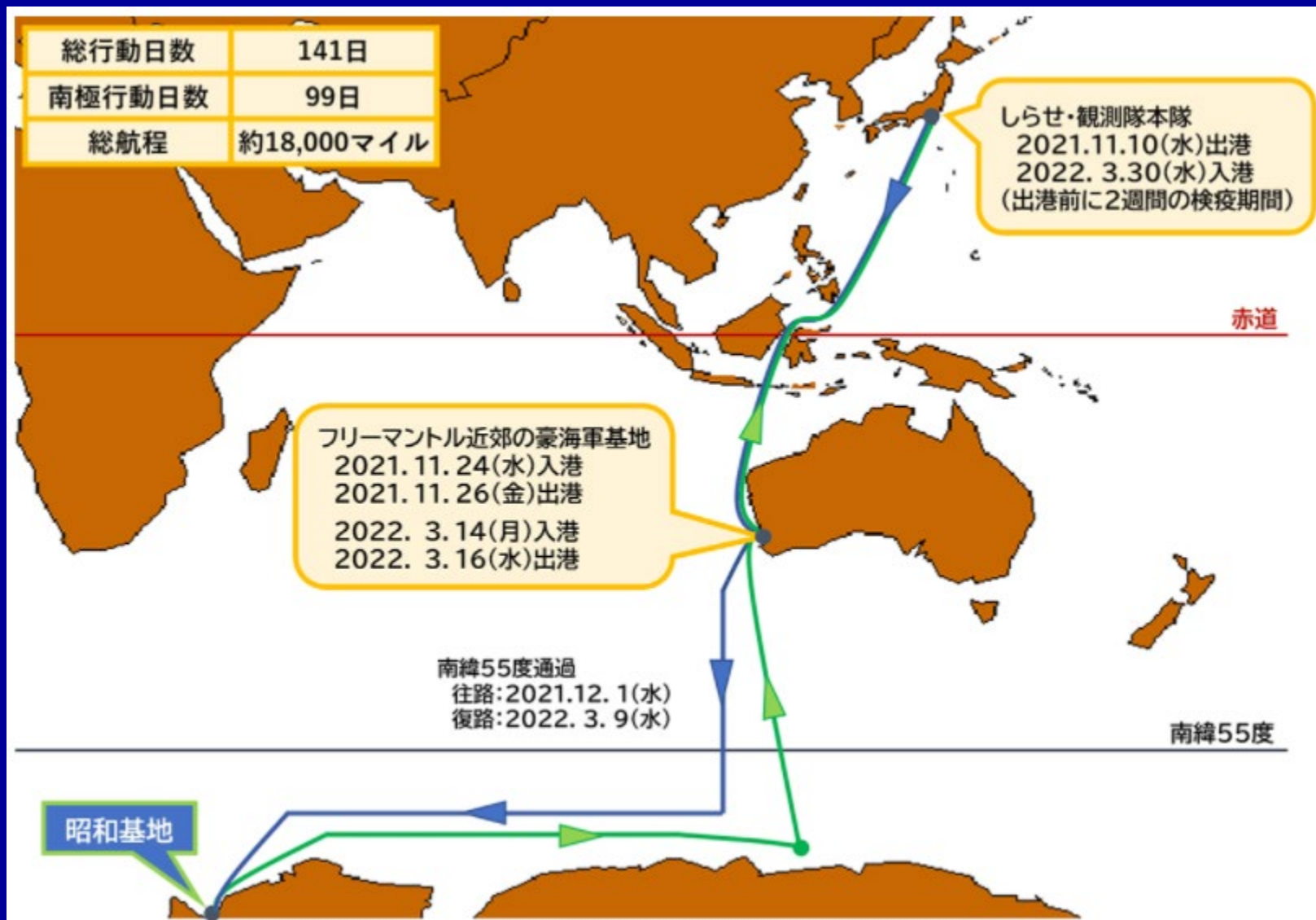
南極地域観測隊員の構成

隊員は、国立極地研究所（極地研）を始めとする政府機関の研究員・職員その他、今回の鹿島道路のように極地研の要請に応じて会社から派遣される場合もあります。

南極での任務完了

南極観測船「しらせ」は2021年12月16日に昭和基地接岸を果たしました。観測隊は一年間の越冬観測を支える燃料や物資、食糧などを昭和基地に搬入したのち、昭和基地周辺の整備を行います。これから2月中旬まで任務を遂行します。

第63次南極観測地域観測隊および「しらせ」行動計画



鹿島道路と南極地域観測隊とのかかわり



第62次隊
宇野木隊員

鹿島道路はこれまで第49次隊(2007年)、第50次隊(2008年)、第52次隊(2010年)及び第62次隊(2020年)とこれまで4回にわたり南極観測隊への派遣協力を行ってきました。

南極での鹿島道路のミッション

昭和基地における、

- ・大型重機等の整備、運用
- ・老朽化した建物の解体
- ・コンテナヤード、道路補修工事
- ・埋立廃棄物の処理

大竹隊員通信

11月17日15時41分、無事赤道通過
しらせ甲板でくつろぐカジマルとカジマルコ



しらせ艦内での餅つき

大竹隊員



南極観測隊任務遂行中！

大竹隊員(36才)



隊員達と一致団結し、
安全第一で任務遂行し
て参ります。

今後も南極観測隊の活躍をお知らせします。